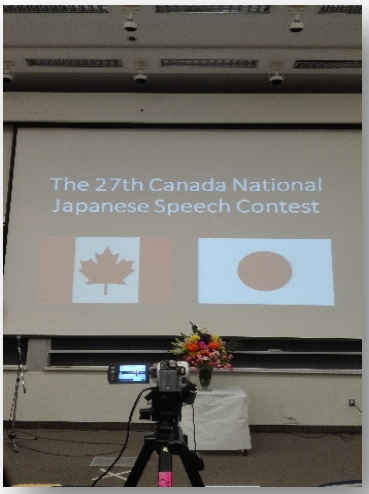
トロント大学交換派遣留学生　片岡亮さん（法学部新聞学科４年）
2016 年 4 月 5 日

ふと立ち寄ったバーの店員のお姉さんに「You may want one of these?」と聞いて、もういらなかった花束を渡したところ、とても喜んでくれたことに未だに少し罪悪感を覚えています、片岡です。

トロントでは春の風が僕のキノコ頭を揺らし、過ごしやすくなってきています。

人のご縁というものは素晴らしいもので、今は本科の授業に苦戦しながらも、週二回、日本語授業の TA としてトロント大学で勉強する生徒さんたちを教えています。つい二週間前には、「日本語スピーチコンテスト　カナダ大会」に運営サイドとして関わらせていただき、トロント中にいるたくさんの先生方や、教授の方々、カナダ全土で日本語を勉強している学生さんから沢山の刺激を貰ったりもしました。自分のクラスから出場した生徒（U of T、History Course の教授）のスピーチを添削し、日本語の発音を直し、最後に壇上で彼女（*U of T の教授です）がスピーチをしている時は気が気ではありませんでした。(笑)　そんなことをしていると、人はやはり助けてくれるものです。なんと自分の宿題であるエッセイを何度も添削してくれたのです！80 点とりました！笑　人の繋がりというのは、本当に何があるか分からないですね。



話はまた少し変わって、僕の生活について少し。トロントに来る前の充実感は、バイトをして友達と遊ぶ、お酒を飲んでお昼まで寝る、ゴルフをする、ということだったのですが、ここに来て生活リズムが変わり、今自分が充実を感じる瞬間が日本にいる時とは少し違うことに最近気が付きました。朝起きて自分で料理を作る、コーヒーを飲む時間があれば尚よし。毎朝ベッドメイキングをして家を出ます。授業の予習をして夕方前に授業を受ける、その日勉強で溜まったストレスはジムに行って発散。んはっ！！って感じです。帰ったらまた自分で夕飯を作り、日本のニュースをチェックしたり、友達の楽しそうな顔を SNS で眺めたり。寝る前は必ずストレッチをしてからベッドに入ります。この時に、朝作ったベッドに入る訳ですが、その日がうまくいかなかった日なら、また明日頑張ろうと気持ちを一新できる。上手くいった日なら気持ちよく整頓されたベッドに入れる。次の日にはまた、一日の始まりとしてベッドメイキングをします。酒をたくさん飲まなくても、お金を使って旅行に行かなくても、充実した日を作れている事に自分で驚いています。ちなみに最近はゆで卵の作り方を覚えて、そればっかりです。高タンパクです。（レベルの低さ。）

留学に来たお陰で、一人で過ごす時間を有意義に使う術を覚えることができました。こういう勉強以外の事で新しい発見も、留学をしてよかったと思える一つの要因になったりしています。

上に載っている写真は僕が TA をしている日本語教室と、カナダ日本語スピーチ大会の時の写真です。申し訳程度に、春のトロント大学の様子も載せておきます。笑